



# みのわ通信No. 62

発行：箕曲地域づくり委員会  
名張市夏見215 箕曲市民センター内 TEL：63-0453

## 2/17 「意見交換会」を開催

平成から未来へ「私たち子ども達もずっと住み続けたいと思うまちづくりへの意見交換会」と題して、未来を担う若者・子ども達にバトンをつなぎ、元気のある箕曲地域にするためにはどのようなすればいいのか、地域の二〇代から七〇代の男女が三十五名集まってくれました。



二〇代の若者も参加

五〜六名が六班に分かれ、①「私たちが



子ども達の意見を発表する箕曲小教頭先生

②「子ども達を明るく未来へと導くために皆でできること」の二つのテーマについて、活発に話し合われました。世代を超えて話し合う場づくり、地域で支え合う仕組みづくりや、体験を通じた取り組みや親子が一緒に参加するイベントなどの意見が出されました。

意見交換会で出された意見については、ハード面の整備は行政に要望し、場づくり、仕組みづくりや各事業については委員会が整理をして、地域の皆さんとの協力を得ながら具体的に取り組んでいくように話し合いを重ね、実現に向けていきたいと思っています。



ひざを交えて 会話が弾む

## 地域の取り組み実践交流会で発表

二月二十三日(日)

に名張市教育センターにおいて、地域づくり代表者会議「実践交流会」が開催され、箕曲地域づくり委員会がゆめづくり協働事業を始め、地域ビジョンに基づく事業内容を発表しました。今までの地域ビジョ



発表するPTA役員

ンの取り組みとして桃木の植樹や酒米づくり、地域の広場や子育てサロンの開設、健康づくりにも力を入れていくこと。近年は子ども達との企



子ども育成部で活動している赤目中学校・箕曲小学校PTA役員の二人が、今後も世代を超えた交流や地域振興を図り、未来に向け住みやすい地域づくりを進めることを力強く発表してくれました。